

# いただいたご意見及び回答

---

第3回高齢者福祉審議会 当日資料

令和7年11月7日（金）

（高齢者支援課）

## 委員からの意見と回答

### 1 「入間市敬老祝金等支給事業の答申書（案）」に関するご意見

- 頂いた資料の答申書で良いと思います。（東委員）
- 入間市敬老祝金等支給事業の答申書(案)を確認しました。特に意見や質問等はありません。（幡野委員）
- 答申書（案）文書のタイトル二行目『見直しについて』は、3回の審議会・・・』とある部分、3回は第3回なのか合計3回なのかははっきりしない。そこで、（一案）全3回、（二案）5月、7月、11月の計3回というように特定したほうがわかりやすいと思う。（宮澤委員）
  - 「・・・3回の審議会」を「・・・全3回の審議会」に修正しました。
- 和暦の後ろに西暦を表記していただきたい。（宮澤委員）
  - 追記表記はしていません
- 100歳を迎える高齢者に対する祝状と100歳以上の高齢者に対する市からの祝状は、どう違うのか？  
後段の方々には101歳、102歳・・・と毎年祝状を送るのか？ 整理されたい。（宮澤委員）

- 100歳を迎える方への祝状は国の賞状サイズに併せ市からも賞状サイズです。100(101)歳以上の方への祝状は77歳、88歳、99歳の方にお送りしたものと同様のカードサイズのものを想定しています（お祝いのお手紙のようなイメージ）。令和7年10月1日現在の人口統計では100歳を除く101歳以上の方は48名です。カードサイズのため、郵送による方法を想定しています。

名称については今後の検討状況なども考慮し、どちらも「祝状」としています。

- 答申書案に「100歳以上の高齢者に対しても市から祝状を贈呈する。」とあるが、101歳から毎年祝状を出す必要はないと考えます。100歳を迎える際のお祝いのみでよいと考えます。（瀧澤委員）

- 事業の廃止に異議はございません。

答申書（案）について、全面廃止とのことですが、100歳以上の方への祝状は残すということでしょうか。100歳以上の対象の方は、大勢ではないと思いますが、全面廃止とのことであれば、なくしてもよいのではないのでしょうか。（吉田委員）

- 77歳、88歳、99歳の方は全廃となりますが、高齢者の方への敬意として100(101)歳以上の方へお祝いのお手紙としてお贈りすることを想定しています。

- 委員各位が慎重に審議した結果をきちんとまとめていただき、ありがとうございます。

意見はありませんがお願いががございます。

資料にもあるように、今後の対象者に対して丁寧な説明をされとのことなのでよろしくお願いします。また40年間も訪問してお届けした民生委員にも丁寧にご説明をお願いします。（山下委員）

➤ 見直し内容、時期等決定いたしましたら、今後の対象者の方、民生委員のみなさま等へ丁寧な説明を行ってまいります。

- 期日を定めた方がいいのでは。計画の事もありますが、令和8年告知、令和9年から実施。（松本委員）
- 2項答申事項に「廃止時期については速やかに対応されることを要望する」とありますが、「廃止時期は令和9年度」と明記した方が良いと考えます。

祝金等の支給は現行第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画において8年度まで実施と計画されているためです。（森谷委員）

- 議事録を読むと、当初は「令和9年度からの実施」となっていたのが、瀧澤委員の「速やかに実施」にすべきという意見が出され、答申案は瀧澤委員の意見のとおり修正されていますが、修正した理由を教えてください。

例えば「令和9年度からの実施を目途とする」と言った修正の方が当初案の主旨を尊重しているのではないのでしょうか？

その他、意見や質問はなく、答申案に賛成です。（今井委員）

- 当初案としては、激変緩和を考え、88歳、100歳を残し対象の見直しと変更時期を令和9年度からとして提案いたしました。第2回審議会時、祝金、祝品については採決の結果、全部廃止となりましたが、実施時期については第3回審議会の答申書作成で議論することとなったため、具体的な時期は表記せず、「速やかに」との表記をいたしました。

## 2 入間市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票に関するご意見

### ○ 資料2について

- ・ 問2のQ4.住まいについて、4 民間賃貸住宅と6 借家の違いは？借間もあるのか？
- ・ 問3のQ4とQ5.転んだ経験、転倒に対する不安、統一してはどうですか。
- ・ 問4のQ7.「入れ歯を利用」の利用に異和感があります。単に使用、使うではだめですか。
- ・ 問5のQ8.2でできる・・・で が一つ多い。
- ・ 問7のQ2.（ ）で西暦の記載と（例）令和5年（2023）というように。
- ・ 問8のQ6.毎日ある→毎日あう（会う）問いが合う頻度を聞いている。

Q5、6.その他に（ ）カッコを。

- ・ 問9のQ3.気持ちになったりする→気持ちになったりした
- ・ 問11のQ1.タテの線は不要では？4 持っていたこと→持った

Q10, 3→2（3が重複）

Q11, 3内容は知らに→知らない（宮澤委員）

- 問2から問9まで設問内容及び表記は、国の調査票（資料2-1）に準じたものとなります。
- ・ 問2のQ4.住まいについて、4 民間賃貸住宅は一般的な賃貸借契約によるもの、借家（借間も含める）は契約によらず借りているなど。（参考：国からの説明資料）
- ・ 問3のQ4とQ5の統一について、国の設定項目のため、統一は行わず現状となります。
- ・ 問5のQ8.回答2「でできるけどしていない」→「できるけどしていない」に修正します。

- ・問 1 1 の Q 1 回答欄のタテの線は他の項目同様に修正します。(実線を削除)

※同様に線が入っている他の設問箇所も修正します。

回答 4 の「持っていたこと」→「持ったこと」に修正します。

Q 1 0 の回答番号 3 が重複している。→「3 何もできなくなる」を「2 何もできなくなる」に修正します。

Q 1 1 の回答 3 「・・・内容は知らに」→「・・・内容は知らない」に修正します。

- 「介護予防～ニーズ調査票」の設問等の表現が今一つぎこちなく感じていましたが、国の指針のとおりであることが確認できました。この内容で良いと思われます。(今井委員)  
(※国の指針＝資料 2-1 「調査票(必須項目+オプション項目)」)

### 3（仮称）入間市認知症施策推進計画策定方針に関するご意見

#### ○ 資料3について

##### ●入間市認知症施策推進計画策定方針について

大変良くできていますが、これを実施するのは大変な労力がかかるものと思われます。

福祉分野は、新しい計画や指針の策定が次から次に国から降りて来るものの、それに見合う人材確保が入間市としてできているのか不安です。市長にはこの福祉行政分野における慢性的な人手不足について、十分に認識してもらう必要があります。

今後も国から降りて来る計画は増えるばかりであり、また、既存の計画との整合性の確保も要求されており、入間市においても、福祉現場人材のみならず、庁内での人材確保をお願いします。（今井委員）

➤限られた人材の中で業務を進めている状況ではありますが、計画の目的を明確にし、優先すべき取り組みをしっかりと見極めながら、効率的かつ効果的に計画策定及び施策推進を進めてまいります。また、既存事業の活用や地域包括支援センター等の関係機関との連携を図りながら、より実効性の高い計画とするよう努めてまいります。